

臨床医学系

| | | | | | | |
|------------|-------------|---------------------|-------------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 教員数 | 教員等数 (人) | 教授 32 (32) | 助教授 47 (40) | 講師 112 (125) | 助手 15 (6) | 技官〔準研〕 - (-) |
| | 異動状況 (人) | 退職・転出 29 (25) | 昇任 17 (10) | 採用 35 (15) | 学内 1 (-) | |
| 研究活動 | 研究発表 (件) | 論文・著書発表数 | | 学会発表数 | | |
| | | 国内 | 国外 | 国内 | 国外 | |
| | 850(905) | | 651(759) | | 2,051(2,038) | |
| | 受賞数 | 29(14件) | | | | |
| | 研究費等 | 採択件数 | | 採択率(%) | 金額(千円) | |
| | | 科学研究費 | 76(87) | 39.5(37.8) | 201,830(265,400) | |
| | | 学内プロ | 60(67) | 42.5(43.5) | 49,406(45,149) | |
| 奨学寄附金件数・金額 | | 450件 | 344,510千円 | (418件 | 291,051千円) | |
| 受託研究件数・金額 | | 13件 | 12,930千円 | (14件 | 46,944千円) | |
| 受託研究員 | 2人(1人) | | | | | |
| 施設・設備 | | | | | | |

・()は前年度の数値を示す。

1 臨床医学系の活動

- (1) 平成16年の独法化を前に中期計画を策定した。
- (2) 自己評価のため、全教官の研究業績集を刊行している。
- (3) 高度先進医療開発を目指し、translational research を推進した。
- (4) 若手研究者の育成のため、実験室の有効利用並びに整備を行った。
- (5) 科学研究費補助金や奨学寄付金など外部資金を積極的に導入した。
- (6) 陽子線医学利用研究センターが稼働を開始し、医用機器・設備承認のための治験を終了し、172例の照射を行った。
- (7) 遺伝子治療の承認を受け、諸準備を整えた。

2 自己評価と課題

- (1) 若手研究者の育成。
- (2) 学系棟内の研究スペース、設備の改善。
- (3) 研究の質の向上。
- (4) 積極的外部資金・研究費の獲得。
- (5) 他学系との研究交流の促進。
- (6) 地域連携研究の促進。
- (7) 中期計画の具体化。

3 今後の研究活動の目標

- (1) 教官人事の簡素化・迅速化。
- (2) 地域医療機関との連携の拠点となるよう各診療研究グループのステーションの設置並びに充実。
- (3) 地域中核医療機関として地域の医療機関との有機的連携の構築。
- (4) 21世紀COEに対応できる医学系並びに他学系・センターとの共同研究の促進。
- (5) 血液疾患の遺伝子治療の開始。遺伝子治療の領域拡大。
- (6) 難病の遺伝子診断、出生前診断など遺伝子診断システムの構築並びに充実。
- (7) 陽子線治療の充実。
- (8) 臓器移植・再生医療のシステムの構築並びに充実。
- (9) 東海原子炉の医用利用の更なる推進。
- (10) 人間総合科学研究棟・新学類を含めた医学地区研究環境の再整備・充実。
- (11) 国立大学の独立法人化に向けた新研究体制(中期計画)の具体化。